



『滝』川島 照代画

理念

- 安心・安全・やすらぎ・心のこもったサービスを提供します。
- 地域・住民・患者から評価・信頼される医療を提供します。
- 絶えざる改善と生涯教育を継続し、職員個々の能力を向上します。

運営方針

- 整形外科の専門病院として、良質の医療を提供できるように最善の努力をします。
- 患者、利用者の権利を尊重し、インフォームド・コンセント(説明・同意・納得)を含む安全管理を徹底します。
- 「医は仁ならざるの術、務めて仁をなさんと欲す」の精神を尊重します。
- 社会の変化にしなやかに対応しながら心技態を切磋琢磨し、全人間的な成長を目指します。
- 地域の皆様の健康と生命を守るために最善を尽くします。
- 職業を通じて地域社会に奉仕し、地域の社会的共通資本として認められるように努力します。
- 高齢化社会を迎え、安心・安全と心のこもった医療・介護を提供します。

大分県北部・豊前地区における骨粗鬆症治療連携の取り組み (第9回大分県北部・豊前地区骨粗鬆症フォーラム)

社会医療法人 玄真堂 川島整形外科病院

院長 川島 眞之

本誌の本年春号で、大分県北部・豊前地区における骨粗鬆症治療連携の取り組みについて報告させていただきました。前回は第8回大分県北部・豊前地区骨粗鬆症フォーラムを開催し、呉共済病院の歯科口腔外科医・東森秀年先生より、歯科の日常診療で撮影するパノラマX線写真を用いて骨粗鬆症のスクリーニング(疑似患者の抽出)を行い、骨密度検診を推進する医科歯科連携の取り組みなどをご講演していただき、当地域の多職種の関係者で学んだことを紹介しました。そして今回は9月16日に第9回のフォーラムを開催し、大阪大学特任准教授の蛭名耕助先生に大変お忙しいところ、中津までお越しいただきご講演を行っていただきました。蛭名先生は新進気鋭の整形外科医で、骨粗鬆症の基礎的なメカニズムや最新の治療のエビデンスなどを分

かりやすく説明していただくことで、改めて骨粗鬆症治療の重要性を再確認することができました。また、当地区における骨粗鬆症治療連携の現状を、薬剤師の立場から渡辺薬局の松本康弘先生よりご報告していただきました。当地区では骨粗鬆症治療中で特に注射剤を投与されている患者さんの情報共有を多職種で進めるため、当院の永芳先生の発案でお薬手帳に骨粗鬆症シールを貼付する活動を行っています。その後、この活動を参考にして大手製薬会社が同様のシール(当然、同社の製品に特化していますが)の提供を始めました。しかしながら、まだこの活動が十分には行われていないため、松本先生からはこのシールに改良を加えることで、改めて地域で活用を促す提案がなされました。また活性型ビタミンD製剤を内服されている患者さ

んは高カルシウム血症をきたす可能性がありますが、調剤薬局での患者さんへの聞き取りから、カルシウムの血中濃度が測定されていない患者さんが少なからずいる現状があることをお知らせいただき、改めて医療機関へカルシウム血中濃度測定と呼びかけを行っていくこととなりました。骨粗鬆症治療薬ビスホスホネート製剤による顎骨壊死(骨髄炎)の懸念から歯科治療拒否問題が全国的に発生しました。この問題を解決するために医科歯科連携の推進が全国的な活動となつていますが、地域によってはなかなか

まく進んでいないところも多いようです。このようなかで当地区では医科・歯科・薬科、医療・介護など多くの関係者の皆様による協力体制が出来上がりがつつあり、さらに深化した連携活動へと発展していることには大変感謝している次第です。今後ともご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



講演会終了後、蛭名耕助先生(前列右側)を囲んで

日本整形外科学会学術総会にて講演 — 整形外科的感染症の源流 —

社会医療法人 玄真堂 川島整形外科病院

理事長 川島 真人



図1. 日本整形外科学会学術総会にて四宮謙一先生、柳下和慶先生と



図2. 東京女子医科大学にて御巫清允教授と

手術を行ったが、膿汁の排出は依然として続いていた。様々な文献を探した結果、米国において掻爬した後、ビニールチューブを挿入して抗菌剤を挿入して持続的に洗

去る5月21日、神戸市で開催された第95回日本整形外科学会学術総会（会長・東京医科歯科大学 大川淳教授）において、『整形外科的感染症の源流』という題で教育研修講演を行った。（図1）私は、生まれて40日目に乳幼児右大腿骨髄炎で生死をさ迷う状態になり、村上医家10代の村上和三先生が病巣を発見し、高崎皮膚科の高崎澄先生が切開して一命を取り留めたそうである。東京医科歯科大学卒業の1969年当時、大学紛争が起これり私たち整形外科入局希望者は、医局に集められて中川助教（後の教授）から、先生の東大の同

級生である御巫清允（みかなぎきよのぶ）教授（東京女子医科大学教授、同附属リウマチ・痛風センター所長）の下で研修してはどうかと提案され、虎の門病院で研修することになった。（図2）翌年、一人の患者さんに出会ったことが化膿性骨髄炎の研究に取り組みきっかけとなった。その患者さんは21歳の女性で、虎の門病院に來られるまでに18回もの手術を都内の諸病院で繰り返していたが、上腕骨骨髄炎に合併した化膿性関節炎で肩関節から膿汁が排出されていた。上司である南條文昭先生は筋肉皮弁で血流を改善しようと

浄するという論文を読み、南條先生の許可を得てこれを試行してみると、2週間余りの持続洗浄で排膿が見事に止まり治癒させることが出来た。何としてもこの方法を普及させようと、チューブの閉塞を防ぐ改善が必要となり、先ずチューブを二重管セイルラムチューブとし、更に回路を3回路に構成した「川島式局所持続洗浄チューブセット」を開発した。（図3）このことを東京大学で開催された東京地方整形外科集談会で発表し、その後、この治療法は面白いので今も継続したらどうかと、当時の東京大学 津山直一教授から励



図3. 川島式局所持続洗浄装置



図3. 持続洗浄チューブセット

ましの言葉をいただいた。その後、1972年から九州労災病院に移り約260例の持続洗浄を行ったところ、従来の掻爬術だけの場合は30%の再発だったのが「川島式局所持続洗浄療法」により10%の再発となり、極めて良好な成績を得ることができた。このことを日本各地の整形外科関連の学会のみならず、米国や中国においても講演し、次第に日本全体に普及していった。1981年に中津で開業して以来、骨・関節感染症患者さんが全国各地から来るようになり、その数は約700例となった。九州労災病院に赴任当初から、天児民和院長（九州大学名誉教授）（図4）からいただいた「減圧症と骨壊死」のテーマのもとに「潜水士の骨壊死」問題に取り組むための基礎的動物実験や有明海大浦漁協での集団検診等を行いながら、米国での国際潜水・高気圧環境医学会で毎年のように発表するようになった。（図5）当時の日本では高気圧酸素治療が減圧症（潜水病）、ガス壊疽、一酸化炭素中毒にしか行われなかったのが、米国等では



図4. 天児民和先生



図6. 2021年玄真堂友の会、赤塚寛会長と



図5. 1975年ハワイ大学研究施設にてラン先生、北野元生先生、林皓先生と

骨髄炎等様々な方面に応用されていることを知り、日本でも何とか使えないかと考えるようになった。その結果、高気圧酸素治療を併用することによって再発は5%程度に抑えることが出来、極めて良好な結果となった。また当院でも開院当初から「骨髄炎友の会」（現在は、玄真堂友の会）を発会し、患者さんが全国から集まり、毎年例会が開かれている。（図6）

の臨床記録が確認されていることから、かなり古い時代からあったようである。ネラトンカテーテルの発明者として有名なフランスの外科医ネラトンは1844年、この骨の感染症を骨髄炎（オステオ・メイリテイス）と名付けた。1881年、アレクサンダー・オグストンは、患者の排膿から原因菌を特定し、細菌の多くは黄色ブドウ球菌であるという発表を行った。その後1940年代になると、ペニシリンが普及し、骨髄炎による死亡率は10%に減少した。1993年から当院にいられた中国の王興義先生は22年間にわたって研修され、「川寫式局所持続洗浄療法」を専門とする病院（200床）を開設されている。私たちの研究成果は米国の「オルソペディクインフェクション」という感染症の専門書に掲載された。その後、日本の数多くの整形外科専門書にも掲載され、厚生労働省も正式の治療法として保険点数に採用し、今日では全国で広く採用されている。

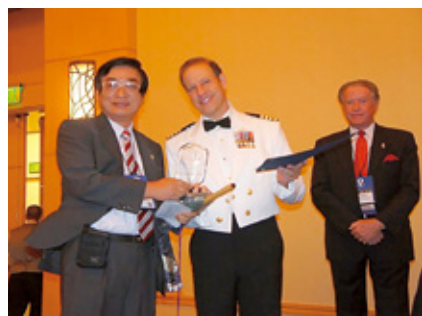


図7. 2012年国際潜水・高気圧環境医学会にてピーター・ベネット理事長と（右端）

して採用され、「川寫式局所持続洗浄療法」として公開されている。この持続洗浄療法と高気圧酸素治療の骨髄炎に対する併用効果については様々な論文が発表されている。その有効性は骨髄炎の病巣周辺は血流の低下により低酸素状態となつているのを改善、酸素そのものによる殺菌・静菌効果、白血球の活性化と免疫増強などがあげられている。白血球は酸素の供給によって殺菌能力が促進され、150 mmHgで効果が最も大きく細菌が死滅するという報告もある。また、高気圧酸素治療自体がゲンタマイシンやトブラマイシン等の抗菌薬の効果を増強するということも報告され、このことについては各国で動物実験も行われている。我々はチューブの大きな問題点の一つである閉塞を防ぐ

ために、東京医科歯科大学眞野喜洋教授が開発したオゾンナノバブル水を使用している。その強い殺菌力と長期安定性や回路の閉塞を起こさない洗浄力という特徴から、ますます治療効果を上げていく。2009年、東京医科歯科大学の荒川真一教授の報告によると、300種類の細菌に対して殺菌効果があるという。近年の我々の研究によると、高気圧酸素治療だけでも約51%が治癒することが確認されており、持続洗浄療法との併用は効果を高めるということも判った。このことは国際潜水・高気圧環境医学会でも発表し、2012年には荣誉ある学術賞をいただいた。（図7）私が客員教授を務めている北京の河北医科大学付属病院燕達病院では、高気圧酸素治療と川寫式局所持続洗浄療法を併用して治療を



図8. 第6回中国高気圧学会にて講演

行っている。私は天津にて開催された第6回中国高気圧医学会で講演をする機会をいただいた。（図8）その後開催された、アジア太平洋潜水・高気圧環境医学会で理事長・会長に就任した。（図9）

高気圧酸素治療は、戦争における死因の一つであるガス壊疽についても応用されることが普及のきっかけとなっている。1853年のクリミア戦争においては外傷死1名に対しガス壊疽等の病死が4人であったが、その後の第1次、第2次世界大戦、朝鮮戦争、ベトナム戦争においては多くのガス壊疽が発生し、戦傷死の最大の原因であった。平時においても、古くはヒポクラテスの記録にもある様に歴史に存在した恐るべき疾患である。壊死性筋膜炎においても高気圧酸素治療が応用されている。1861年、ブルンメルカンブが壊死性筋膜炎に高気圧酸素治療を応用することによって死亡率が有意に減少したと報告して以来、世界中で応用されるようになった。2015年、デバネーの報告によると、341例の壊死性筋膜炎に対して高気圧酸素治療を施した場合の死亡率は12%、非高気圧酸素治療では24%であることから、米国の学会においても正式な治療法として採用され、日本においても同様である。この様に難治性疾患



第95回日本整形外科学会 大川淳会長と



図9. アジア太平洋潜水・高気圧環境医学会理事長・会長に就任

も治療成績の向上が認められるようになってきた。整形外科領域における厄介な感染性疾患も、治療法の開発によって改善され、克服してきた歴史と現状と未来についてお話をすることが出来た。この様な機会を与えて下さった大川淳会長に感謝申し上げます。

第22回九州高気圧環境医学会

高気圧治療科 統括科長 山口 喬

7月30日に長崎市で開催された第22回九州高気圧環境医学会（会長・中村利秋 長崎みなとメデイカルセンター 集中治療部長）に院長と共に参加させていただきました。新型コロナウイルス感染症の第6波が落ち着き、他の各学会も徐々に現地参加型に戻ってきた感があり、本学会も通常の開催となると思っていた矢先、7月に入ってから第7波の感染者の急増の事態となりました。そのため現地での参加は発表者と座長に制限されました。

川畷院長は、高気圧酸素治療（HBO）が著効した化膿性骨髄炎3症例について報告し、私は抗菌薬で改善が見られなかった蜂窩織炎に



に対して、HBO開始後に急速に改善が得られるケースに注目し、蜂窩織炎に対するHBOの有効性について報告しました。特別講演は『COVID-19時代における肺炎診療』と題して長崎みなとメデイカルセンター院長の門田淳一先生によるご講演でした。重症の新型コロナウイルス感染では肺炎を伴うことが多く、ウイルス性肺炎である場合は抗



菌薬が無効であること、高齢者では細菌性肺炎や誤嚥性肺炎を合併していることが多く、それらの鑑別は容易でなく、抗菌薬による治療には細心の注意が求められることなど、長崎県でも多くのコロナ患者に対応している病院の先生のご講演を拝聴して、重症者への対応の大変さを実感することができました。

長崎は大変多くの観光スポットがあり、普段の週末であれば多くの観光客でにぎやかなことと思えますが、その頃は新規感染者数が連日最多となるような状況で、中華街も半分ぐらいは休業しており出歩いてい

る人もごくわずかでした。感染の拡大が収まり、一日も早く元の生活に戻れるように願うばかりです。



第14回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会に参加して

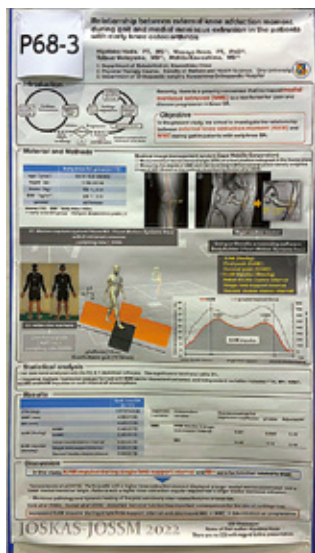
クリニックリハビリテーション科 主任 羽田 清貴

2022年6月16日から18日に札幌で行われた第14回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会に参加させて頂きました。コロナ禍の影響で現地参加とオンライン参加のハイブリッドタイプの参加形式でした。本学会では発表スライドやポスターはすべて英語であり、英語での発表

軽度の変形性膝関節症の患者さんが歩くときに膝関節の内側にかかる負担（外部膝関節内反モーメント）と半月板の外側逸脱との関連性についてでした。近年では、半月板の逸脱や機能低下は変形性膝関節の発症や進行、膝痛の危険因子であることが明らかになっており、半月板その予防を明ら



かにすることは早急の課題であると言えます。当院には半月板損傷や変形性膝関節症にて膝痛を有し、歩行や日常生活において非常に困っている患者さんが多く来院されます。日々のリハビリにて膝痛を少しでも和らげ、痛みなく歩くことができ、安心して日常生活が過ごせるためのリハビリを再考し提供できるように、これからも様々な視点から膝関節の研究を継続していきます。



女性の命を救ったマンダラゲ

大分大学名誉教授・川島整形外科病院名誉顧問 島田 達生

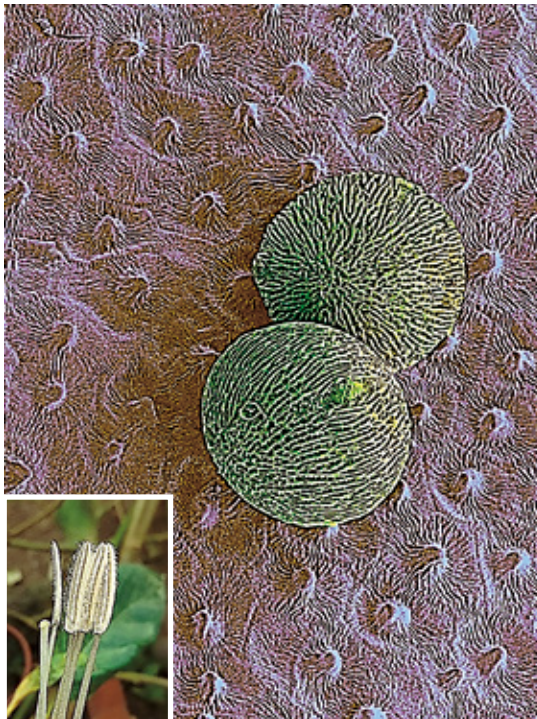
マンダラゲの花

Photograph of datura flower

中津市の大江医家史料館に、真っ白な「マンダラゲ」の花が咲いている。葉、根、種子など全体が有毒で、華岡青洲は、この毒性を利用して麻酔薬をつくり、乳がんの手術に成功している。大江家第5代の大江雲澤は華岡流医学を学び、敷地内に薬草園を設置していた。マンダラゲの花言葉は、あなたを酔わせる。



マンダラゲは朝顔と兄弟か？



マンダラゲの花弁と花粉の走査電子顕微鏡像

Scanning electron micrograph of petal and pollen

マンダラゲは、花が朝顔とよく似ていることから、一般に「朝鮮朝顔」と呼ばれているが、大きさ、色からして「夕顔」に似ている。マンダラゲはナス科、朝顔はヒルガオ科、夕顔はウリ科の植物で、全く違う。挿入は数本の雄しべと1本の雌しべで、雄しべの中に沢山の花粉が入っている。花粉が棒状の雌しべの上に付着することで受粉が始まる。(島田達生)

ようこそ先輩

5階病棟 副主任 村上 伸子

7月初旬に吉富中学校の3年生を対象とした『ようこそ先輩』という授業の講師として訪問してきました。内容としては当院の紹介、看護師の仕事内容、実際の体験談等を講義しました。生徒さんがとても真剣な眼差しで授業を聞いてくれた事が印象的でした。感想でも「医療に興味を持つた」「大変な仕事だがやりがいがある仕事だ」といった言葉が聞かれました。今回の訪問で、私自身も学生だった時の初心を思い出し、良い刺激を貰いました。今後も医療に携わるものとして教育現場に貢献できればと願っています。



健康教室

栄養管理科 管理栄養士 別府 杏聖

2022年7月9日(土)、当院玄真堂ホールにて新型コロナウイルス感染症対策を実施し、健康教室を開催しました。今回は『からだがよろこぶ栄養』をテーマとし、日常生活での栄養バランスの考え方についてお話をさせていただきました。参加された方からは

「さっきのスライドでこう言っていたよね?」「よくこういう話を聞くから普段から気をつけているよ」といった声があり、食に関心をもって今回の教室に参加されている様子が伝わりました。

バランスの良い食事が大切だと理解はしていても、いざ実践しようとするとなかなか難しかったり、なかなか行動に移せない方もいると思います。年齢や生活スタイルに合わせて「これならできそう!」と言っ

が開催されました。感染対策を行いながらの暑い中でしたが、心地よい音色や軽快なリズムは、自粛、自粛を呼びかけられる入居者の皆様にとって、心身ともに癒された時間になった事

ていただける食事のアドバイスができるよう今後も努めてまいります。



と思います。

入居者の〇様より一言「次回は一緒に大きな声で歌いたい!」叶いますように...

夕涼み演奏会 (ケーナ・篠笛)

サービス付き高齢者向け住宅ひだまり 管理者 浦岡 由布子

夏も終わりに近づいた8月22日(月)、夕食後のひと時を、川島理事長が所属される「アンデスの会」の皆様と、後半には篠笛演奏家で知られる中島勝己先生をお招きし『夕涼み演奏会』



Dr. コラム



「そら手(で)・そらうで」って聞いたことありますか？



診療副部長 剛 後藤

手首より大体5cm位、体寄りでの甲側・親指側の部分に痛みが生じます。腱と腱が擦れて炎症を起こす病気です。昔、田植えを機械ではなく人の手を使って手植えをしていた頃に良く生じていたそうです。稲を摘まんで手首を動かす動作の繰り返しで炎症を引き起こしていました。橈骨という前腕の親指側の骨の上で手首を手の甲側に曲げる腱と親指を伸ばす・広げる腱が丁度交差するため炎症が起こります。そのため正式名称は『腱交差症候



群』と名付けられています。またこの疾患は同部位でグツグツした感じや麦を踏んだような音(私は片栗粉を擦ったような音・感覚に感じますが)が生じます。慢性性腱周囲炎とも言われます。治療は炎症を抑えるためステロイドの局所注射、手首を固定し安静にします。それでも治らなければ手術もあります。ほとんどの方が手術までしなくて治ります。以前新潟で働いていた時に初めてこの疾患を知りました。中津に帰ってきてからも時々診ますが、農業ではなく工業での手の使い過ぎにより生じておりました。良く知られている腱鞘炎以外でも腱に由来する痛みが生じる疾患があります。手の痛みでお困りの方は御相談ください。ただ、その前に使

いたすぎた手を十分に労わることも忘れずに。

薬剤科提供

薬のまめ知識～保管方法について～

薬剤科 科長 六鶴 晶子



「注意するのは 温度 ・ 湿度 ・ 光」

温度

特に指示がなければ、一般的に室温(1～30℃)で保存。

ソフトカプセルは、やわらかくなって、包装にくっついて、取り出しにくくなることもあるので、できるだけ涼しい所をお願いしたいです。お薬をもらって帰る途中でのお買いものや寄り道も、車の中が思った以上に高温になるので注意してください。坐薬が溶けないようにね。

冷所(1～15℃)

水薬やシロップ、坐薬、自己注射薬などは、冷所保存のものが多いです。冷蔵庫に保管する際は、凍らないよう注意してください。あまり冷えすぎないドアポケットや、潤わない野菜室なら良いかと思います。冷蔵庫から出した時は湿り戻りにも注意が必要です。坐薬は、先の方を下にして保管した方が、形が崩れなくて良いです。

湿度

お薬は湿気を嫌います。病院や薬局で、一包化(1回分ずつパック)されたものや、粉薬は湿気の影響を受けやすいので、乾燥剤の使用をお勧めします。

光

直射日光はもちろん、蛍光灯の光でも、ずっと長い時間の放置は変質がおこりやすくなります。

室温で保管する場合の、おすすめ

密閉できる缶や光を通さないケースに、乾燥剤と一緒に入れ、風通しの良い所や、エアコンの効いてる部屋に置く。



社会医療法人玄真堂の リハビリテーション

リハビリテーション部 部長代理 杉木 知武

リハビリという言葉聞いて皆さんはどのような印象をお持ちでしょうか？リハビリ専門職が手や足を一緒に動かす訓練をしたり、平行棒という手すりを把持して歩行訓練を行う病院での訓練を多くの方が思い浮かべるのではないのでしょうか。そのイメージも正解です！！ただリハビリという概念はもっと深く、とても幅広いものです。WHO（世界保健機関）によれば『能力低下やその状態を改善し、障害の社会的統合を達成するための、あらゆる手段を含む』とされています。単なる怪我などの回復だけでなく、障害に関わらず人間的に生き生きする権利の回復や自分らしく生きることにへの援助や活動をも含んでいる…という事です。

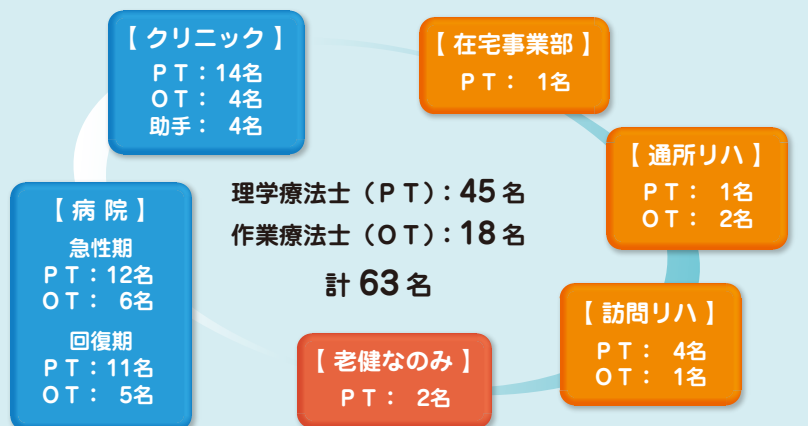
では、玄真堂でのリハビリはどうか？？現在、玄真堂には63名のリハビリ専門職（理学療法士・作業療法士）が在籍し、それぞれの分野で活躍しています。具体的には、新規外来患者へはクリニック通院で保存的治療を目的としたリハビリを提供します。体の状態・経過にて手術適応となれば病院での入院治療・手術、その後、リハビリとなります。病院でのリハビリは手術翌日から開始される急性期リハビリと数カ月間入院治療を行う回復期リハビリがあります。怪我の程度や病名によつて異なります。無事に退院された後のリハビリは外来クリニック通院にてフォローさせていただきます。また、患者・利用者によっては医療保険だけでなく介護

保険でのリハビリ提供も行います。病院退院後、老人保健施設などのみに入所していただき在宅復帰に向けたリハビリを提供したり、通所リハビリ（デイケア）・訪問リハビリで在宅での生活維持を目標にリハビリを提供したりと全人的にフォローが出来るよう、多方面にてリハビリを提供させてい

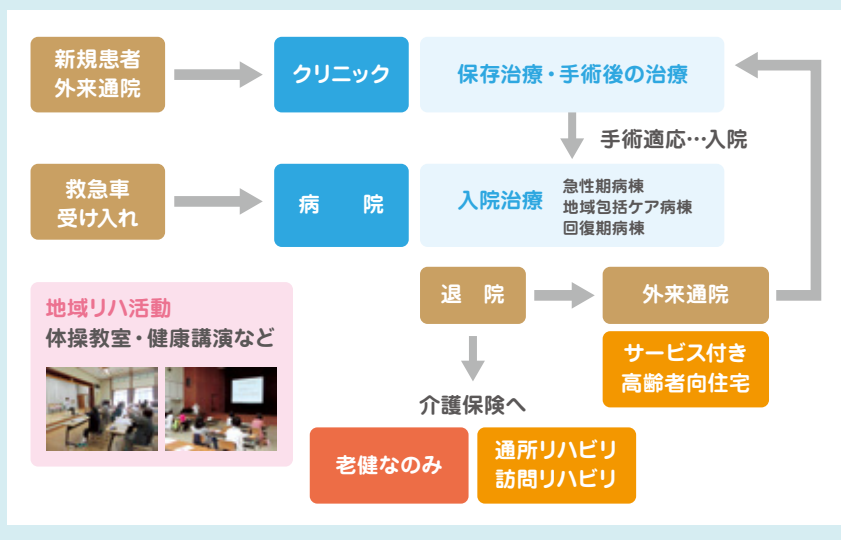
ただいています。「川島のリハビリをぜひ受けてみたい！」という方は主治医やケアマネージャーに相談してください。また、法人内でのリハビリだけでなく、地域リハビリ活動として中津市各地（市内く山国までの）の公民館や地域サロンで体操教室・健康講演などを行い、地域の皆様の健康増進にも貢

献しています。リハビリテーションの由来は「(再び) と habits (適する) というラテン語です。由来の言葉のように、玄真堂に御縁のある患者・利用者の皆様の全人的復権に少しでも近づけるよう、様々な分野で今後も努めていきたいと思えます。

社会医療法人 玄真堂のリハビリ専門職



社会医療法人 玄真堂のリハビリ提供体制



院内勉強会

モーニングセミナー

- 2022.6.17
「骨粗鬆症と整形外科のこれから」
永芳所長
- 2022.7.15
「足関節の骨折」
佐々木診療部長
- 2022.8.19
「腱損傷」
後藤診療副部長

カワシマハンドセラピー研究会

- 2022.6.20
「症例報告」
杉木リハビリテーション部部長代理・中埜作業療法士
「肘頭骨折」
永田作業療法士
- 2022.7.11
「症例報告」
奥貞・榎木作業療法士
「炭酸ガス経皮吸収療法」
岸本リハビリテーション部副主任
- 2022.8.15
「症例報告」
川端・大鶴作業療法士
「手の拘縮」
中埜作業療法士

川島肩をカタろう会

- 2022.6.27
「肩関節のX線画像のみかた」
田西理学療法士
- 2022.7.25
「鏡視下腱板修復術後の退院時の生活動作指導について」
中野晴香理学療法士
- 2022.8.29
「肩甲胸郭関節」
奥貞作業療法士

院外発表・講演

- 2022.6.12
中津地方文化財協議会 (中津市)
「豊前地方の古代史(邪馬台国・豊前説)」
川島院長講演
- 2022.6.16～18
第14回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会、日本整形外科学会スポーツ医学会学術集会(JOSKAS-JOSSM 2022) (札幌市)
「Relationship between external knee adduction moment and medial meniscus extrusion during gait in the patients with early knee osteoarthritis」
羽田リハビリテーション部主任発表
- 2022.6.15、22
ファビオラ看護学校 講義 (中津市)
川島理事長講義
- 2022.6.24
職業人講話 (中津市)
「苦楽吉祥 玄真堂の歩み」
川島理事長講演
- 2022.7.30
第22回九州高気圧環境医学会 (長崎市)
「蜂窩織炎に対する高気圧酸素治療の有効性の検討」
山口高気圧治療科統括科長発表



看護部勉強会

2022.8.22

看護補助者の活用に関する看護職員研修

膝関節勉強会

2022.6.8

「膝蓋腱断裂」

牟田口理学療法士

2022.7.13

「当院のTKA患者の術後経過」

宮本リハビリテーション部副主任

2022.8.10

「Osgood-Schlatter病（OSD）～病態及び発症要因について～」

谷理学療法士

医局抄読会

第1、2、4火曜日の朝7時45分スタート

2022.6.7

中手骨骨折に対する髄内スクリュー固定術

古江副院長

2022.6.14

変形性関節症および腱・靭帯損傷の治療に対する多血小板血漿および細胞ベース治療の現状

川島院長

2022.6.28

人工関節周囲のブドウ球菌感染に対するバクテリオファージ療法の可能性

渡邊医長

2022.7.5

肩関節置換術前における副腎皮質ステロイド薬の注射のタイミングに基づく再置換術の危険性

佐々木診療部長

2022.7.12

ギプス除去時の騒音暴露についての見解（ギプスカッターの種類とギプス素材の影響）

後藤診療副部長

2022.7.26

小児の手関節隆起骨折に対する固定法（FORCE）：英国における無作為化比較試験

太田医師

2022.8.2

肩関節初回脱臼後の外旋・外転位固定と関節鏡視下制動術の比較

半田医師

2022.8.9

バケツ柄状半月板断裂縫合術の手術結果 大規模コホート研究

本山副院長

2022.8.23

尺骨突き上げ症候群患者の骨形態

古江副院長

2022.8.30

免疫抑制薬の長期使用とCOVID-19 入院患者のアウトカム：National COVID Cohort Collaborativeのデータを使用した後ろ向きコホート研究

川島院長

論文（共同含）・誌上发表

- 山口喬 他：発症から1週間以上経過した脊髄型減圧症に対する再圧治療の有効性の検討，九州高気圧環境医学会誌，Vol 22，2-6，2022
- 宮田健司 他：当院における手部の外傷に対する高気圧酸素治療，九州高気圧環境医学会誌，Vol 22，7-11，2022

当法人のSDGsの取り組みについて

事務局 総務部 副主任 瀬口 清美

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



キュウリやゴーヤ、ピーマンなど瑞々しく美味しい野菜が沢山収穫できました。あまりの暑さに室温はあまり下がりにませんでした。リハビリで歩行訓練を行う患者さんからも「お！緑のカーテンやね！」と声を掛けられることもしばしば。時には別の部署の職

員さんにおすそ分けをしたりなど、暑い中でも楽しい夏のひと時を過ごすことができました。その他にも毎年エコ活動『マイ箸・マイボトル・エコドライブ』などを行い、多くの職員が参加してくれています。また外来で処置をする際、使い捨てではない布の穴あきシートを利用したりなど普通では捨てるような物も再利用できるものを選びましょう！と取り組み続けています。

9月から中津市も燃えるごみの袋が有料化になり、ま

Sustainable Development Goalsという言葉について聞かれたことはありますか？日本語では『持続可能な開発目標』と呼ばれています。昨今では頭文字のSDGsという言葉の方がおなじみかと思えます。17の世界共通の目標で壮大な事のように思えますが、私達玄真堂でも手の届く範囲から取り組んでいます。

太陽光・太陽熱を利用した発電、空調システムはSDGsの言葉がよく聞かれるようになる前から環境問題を考慮し病院施設に配備しています。今年の夏は地球温暖化の現実味をまざまざと感じられる猛暑でしたが、空調温度28度を守るよう頑張りました！毎年事務局のお部屋はとも暑くなりますので、少しでも環境に優しく、と南側の窓に緑のカーテンを作りました。



編集後記

秋の深まりとともに肌寒さを感じる季節となりました。この季節は月がとてもし綺麗ですね。私は日課でウォーキングを続けていますが、夜空を見上げてホッと心を落ち着かせたり、そんな時間を大切に過ごして行こうと思います。

これから一層寒さが増しますので、皆様もお身体を大切に、過ぎゆく秋を感じて頂ければと思います。

(Y・H)

【患者様の権利と患者様の責務】

患者様は、個人としての尊厳が守られ、平等で最善の医療を受ける権利を有するとともに、医療を効果的にするために守って頂きたい事項があります。

【患者様の権利】

1. 病気の種類や個人的背景に関係なく、平等に医療を受ける権利があります。
2. 人格は尊重され、医療提供者との相互協力関係のもとで最善の医療を受ける権利があります。
3. 医療に関して十分な説明、情報を求める権利があります。
4. 医療内容について自分で選択し決定する権利があります。
5. 自己の意思に反する医療を拒否する権利があります。
6. 自己の診療記録の開示を求める権利があります。
7. プライバシーや個人情報を保護される権利があります。
8. 健康維持のため教育やサービスを受ける権利があります。
9. 安全を確保される権利があります。

【患者様の責務】

1. 医療提供者に対し、患者様ご自身の健康に関する情報の提供
2. 他の患者様の療養生活に支障を与えない配慮
3. 早期回復の為、医療提供者が定めた規則の遵守
4. 円滑な医療行為の為の、患者様・ご家族の積極的な医療への参加
5. 早期回復の為の、患者様・ご家族の積極的な医療への参加
6. 診療費の遅滞ない支払い